

平成 29 年度 自己評価結果報告書

ときわみなみの幼稚園
園長 大嶋 春枝

1. 本園の教育目標

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

①安全管理	○昨年度の課題として取り組み作成した「安全計画」と「保健計画」を年間指導計画と連動して、園の安全管理を強化し充実させていく。
②環境の構成	○異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をする。 戸外での遊びの時間は、遊びのコーナーに教師の配置を決め、異年齢交流が自然と出来る体制ができているが、室内遊びの時間がクラス単位であるため異年齢交流がなかなかできないことが課題である。今年度は、室内遊びの時も、異年齢活動が出来るような活動と体制を工夫していく。 ※「にこにこデー」の異年齢活動では、年10回の交流が出来ているが、グループが決められている。
① 地域の自然・社会との かかわり	○地域の自然や主な施設の場所・交通機関・行事などについて理解するように努める。 今年の課題として取り組んだ「ときわみなみ幼稚園お散歩マップ」を活用して地域の自然や人との関わりを深めていく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
①安全管理	園の安全管理の意識を高めることはできたが、「安全計画」と「保健計画」を月ごとに作成したため、年間指導計画と連動していく際、取り組みづらさと現場の先生からの反省がでた。次年度に向けて、年間指導計画(V期)と合わせて1期ごとに作成の見直しをする。
②環境の構成	戸外遊びの時間が異年齢保育の交流の活動の場となるが、クラスの友だちとの遊びになってしまう。 室内での異年齢交流活 ◎自主活動の戸外遊びで、色々な学年・クラスの友だちと触れ合って遊ぶ。 ◎自主活動の室内遊びで、年長児のお店屋さんごっこに年中少児を招待して遊ぶ。 ◎年長組と年少中組で、一か月交代で一クラスずつ交流遊びをす

	<p>る。 ※月に2・3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みんなで楽しむ集団活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団遊び（ゲームなど） ・ 園外保育 ・ ネイチャーゲーム（戸外） ○昼食時の活動 <p>◎全学年で遊びの時間に郵便屋さんごっこの活動を取り入れ交流</p> <p>今年度、新しい形で異年齢交流活動を行ってみたが、2学期の発表会の練習になると活動を導入しづらくなり、交流を深めることができなかったように思う。次年度は、一日の生活の中で交流する形態を考え、一年を通して子どもたちの「心の育ち」となるような異年齢交流活動を行っていく。</p>
② 地域の自然・社会との かかわり	<p>「ときわみなみ幼稚園お散歩マップ」を活用して地域の自然や人との関わりを深めていくとうねらいのもとで、各学年園外活動、お店見学など</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

課題をもって取り組むことにより、週日案に意識的に取り込み、実践してこことができたが、異年齢交流の必要性を強く感じることができた。色々な保育活動の場面で、

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
①異年齢交流の取り組み	<p>異年齢交流を通して、子どもたちが年齢の枠を越えて共に学び合い、社会性や協調性、思いやりの気持ちなどを育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスを2グループに分けて年少・年中・年長の縦割りグループを4つ作る。※兄弟姉妹は一緒のグループ ・クラス2グループには、担任と副担任が各グループに分かれてつく。 ・各グループに名前を付ける。各学年の先生が3人担当になる。1年間同じグループで異年齢活動をする。 <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登園時の活動 ・年長→年少組と年中組にお世話に行く。 ○9時30分 ～10時30分 ・戸外遊び ※雨の時は遊戯室や保育室 ○月曜日は、一日を通して交流 ・園外保育、おにぎり日

6. 学校関係者の評価

委員からは概ね良好な運営がなされ、学校評価にも積極的に取り組まれているという意見を頂き、特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。